

参考資料

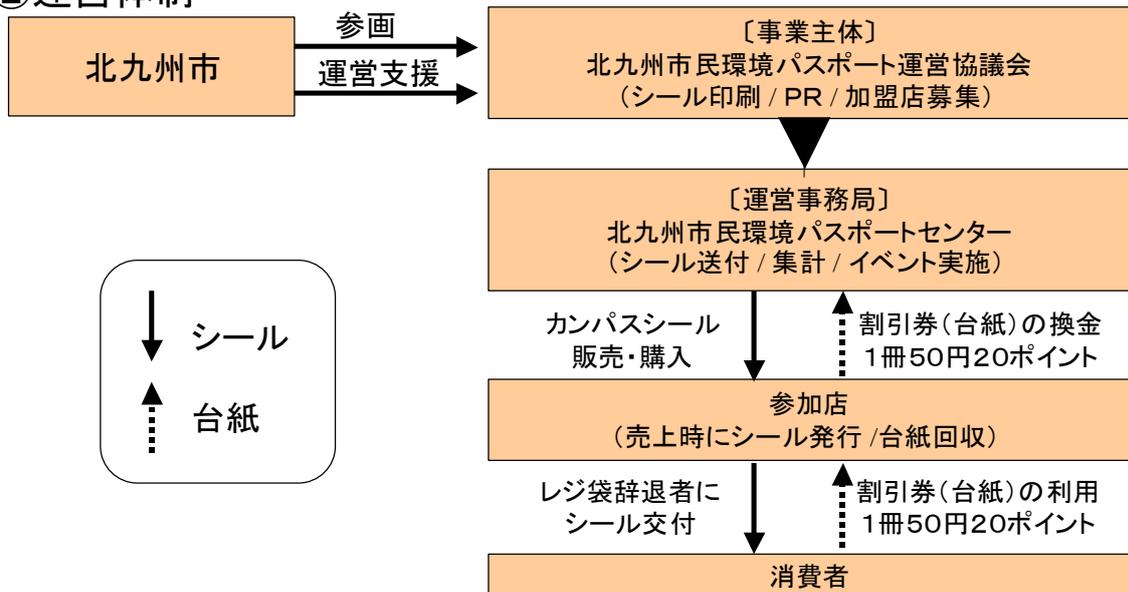
1. 北九州市民環境パスポート（カンパス）事業
2. ローソン ケータイバック運動の推進によるレジ袋の削減
3. 京都市 2R型飲料供給システムの構築
4. 足立区 あだちエコネット事業

北九州市民環境パスポート(カンパス)事業	
概要	<ul style="list-style-type: none"> 環境パスポート(略称:カンパス)事業は、市民が楽しみながら環境活動に参加できるきっかけを提供するためのポイントプログラム 環境に配慮した活動をした人が、活動内容に応じたポイントを取得し、そのポイントを得点と交換できる「頑張れば頑張っただけ得をする」仕組み IDカードを用いた「カンパスカード事業」と、ノーレジ袋運動を中心とした「カンパスシール事業」を展開 <p>1)カンパスシール事業 平成18年12月から全市共通ノーレジ袋ポイント事業「カンパスシール」を展開 参加店で概ね200円以上の買物をした際に、レジ袋を辞退すると、シールが1枚もらえる仕組み</p> <p>2)カンパスカード事業 「食品廃棄物エタノール化リサイクルシステム実証事業」において、市内3ヶ所の回収拠点に、バイオエタノールの原料となる生ごみを、家庭から分別・持参していただいた場合にポイントを付与する事業</p>
関係主体	市民／事業者／行政
全国／地域	地域型
規模(市場)	<p>1)レジ袋削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標を設定し消費者に協力をお願いしている。 レジ袋お断り率20%を目標 参加店舗数…147店舗(H18年12月)→302店舗(H21年6月現在) レジ袋お断り率…9.5%(H18年12月)→21.7%(H21年6月現在) 削減できたレジ袋の枚数…H21年3月分までに約2,300万枚の削減。 削減できたレジ袋の枚数から削減できた原油量…約421kL 削減できたレジ袋の枚数から削減できたCO2の量…約1,380トン カンパスシール参加店 (スーパー約39%、商店街約39%、ドラックストア約9%、個人商店約7%、他約6%(2009.6現在の内訳)) <p>2)生ごみ「資源」回収</p>

①シールの流れ



②運営体制



ローソン “ケータイバッグ運動”の推進によるレジ袋の削減	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省と「環境保全に向けた取り組みに関する協定」を締結。 ・2007年3月より、お客様と一緒にできる環境保全運動「ケータイバッグ運動」をスタート。 ・無償配布をメインに、デザイン・仕様を公開して、全国から賛同企業・団体を募って普及・拡大に取り組んでいるところ。
関係主体	区民／事業者／行政
全国／地域	地域型
規模(市場)	<p>①取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コンビニ業界ではレジ袋の無料配布中止は難しいとする中、コンビニ用のマイバッグ(ケータイバッグ)の無償配布を実施。自治体との包括協定締結を機に、その自治体のマークを入れたケータイバッグを無償配布するなどして普及に取り組む。 ・ケータイバッグ配布枚数 216万枚(2009年6月末日現在) ローソン店舗等での配布数 151万枚 協力企業・団体による作成・配布数 65万枚 ● 北海道全店およびナチュラルローソン等一部店舗で、ローソンポイントカード会員を対象に、レジ袋の使用辞退者に対するポイントの進呈 ● 店舗スタッフからの声かけやポスター貼付等の取り組みを実施 ● 京都大学からの呼びかけにより、大学内店舗でのレジ袋非有料化方式でのレジ袋削減に協力 <p>これらにより、1店舗当たりのレジ袋使用重量 2005年度比 2008年度7.0%削減 お客様1人当たりのレジ袋使用重量 2005年度比 2008年度13.5%削減 レジ袋配布率 2008年度 76.9%</p>

“ケータイバッグ運動”の推進によるレジ袋の削減

(容器包装3R推進環境大臣賞 H20年度:優秀賞)

環境省とローソン

環境省:積極的な広報活動
 ローソンの取り組み支援、環境省のホームページに紹介 など

「環境保全に向けた取り組みに関する協定」の締結:2006年9月

<協定内容>

- ◆レジ袋使用量の削減(2008年度までに2005年度比20%削減に挑戦)等
- ・レジ袋を利用されないお客さまに、値引きや会員ポイント付与の実験を実施
- ・コンビニでも使いやすく、携帯しやすいマイバッグを作成 等

具体的施策

コンビニ用マイバッグ(ケータイバッグ)の無償配布
 合計配布枚数 216万枚(2007.3~2009.6)

ローソンポイントカード会員でレジ袋を辞退した方に
 1ポイント進呈(北海道、ナチュラルローソン等一部店舗)

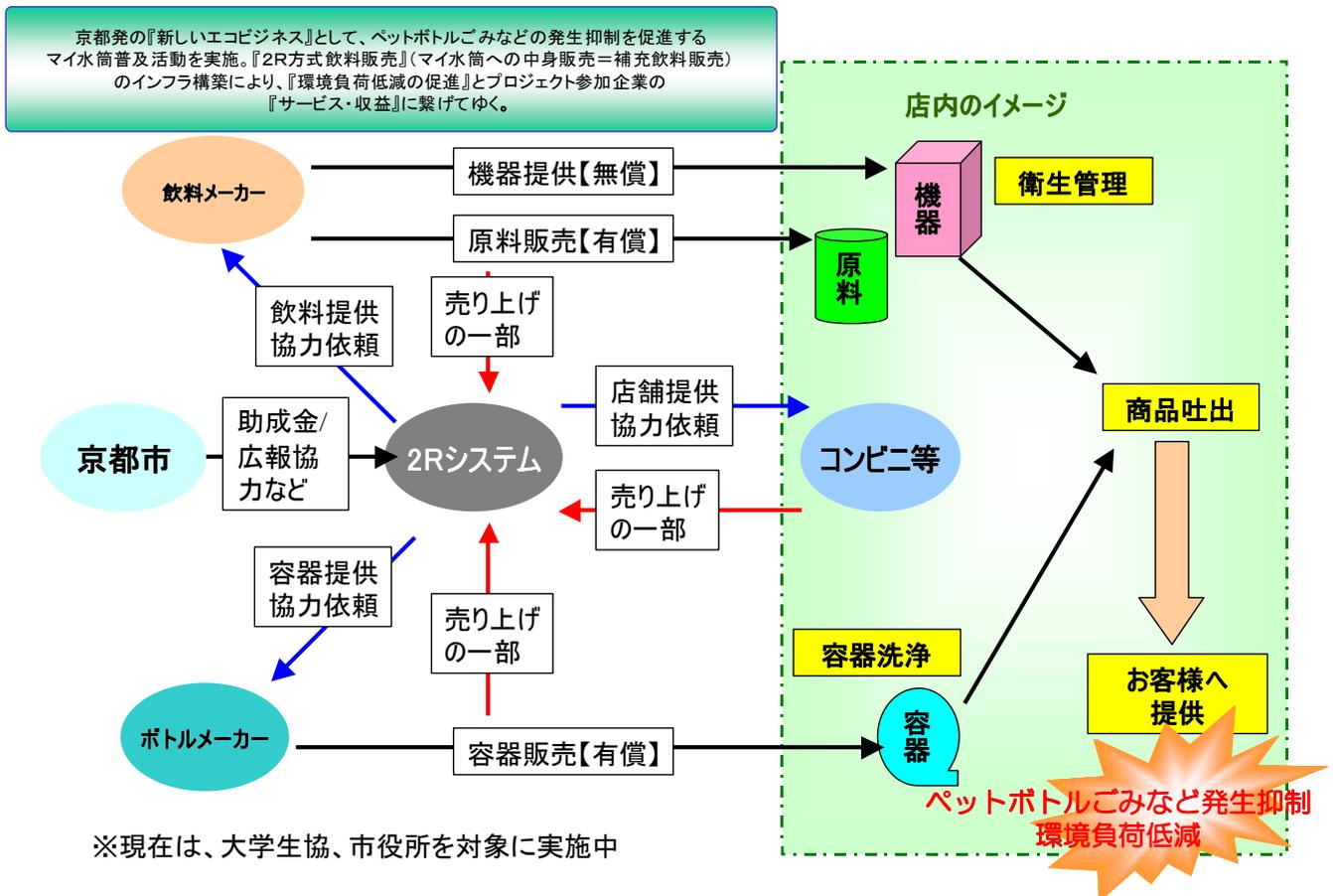
店舗スタッフからの声かけ、ポスター貼付継続

ケータイバッグ運動
 平成20年度容器包装3R推進環境大臣賞
 小売店部門“優秀賞”受賞

平成19年度容器包装3R推進環境大臣賞
 小売店部門奨励賞
 平成19年度わたしが作ったマイバッグ環境大臣賞
 事業者部門奨励賞 受賞

京都市 2R型飲料供給システムの構築	
概要	<ul style="list-style-type: none"> 京都市では、本市における「脱温暖化社会」「循環型社会」の構築に資する先進的な取組を全国から公募し、最長3年間にわたり最大で1千万円の事業資金を助成する「京（みやこ）の環境みらい創生事業」を平成19年度に創設した。本事業は、第1回目の助成事業の一つである（本事業は単年度のみ助成）。 「Recycle」が社会的・経済的に認知されている一方で、「Reduce：発生抑制」「Reuse：再利用」は、認知度が低く、取組が事業化されている例も少ない。本事業では、この「2R」に焦点を当て、安価で京都らしいリユースボトル（マイボトル）を開発するとともに、コンビニ等の小売店における飲料の中身供給拠点を整備し、現在の大量消費・大量廃棄を見直すための「2R型流通モデル」の構築を目指すもの。 ペットボトルや缶飲料のみならず、新たな飲料提供の選択肢としてマイボトルの利用促進に繋げるのが狙い。更に、「国際観光都市・京都」の特性を生かし「観光」と「環境」をコラボレーションした新たなビジネスモデルを構築し、2R型飲料販売のインフラ整備により、環境負荷低減とプロジェクト参加企業のサービス・収益に繋げていく。 地球規模での脱温暖化に向けて、ペットボトルなどの空容器を削減することにより、「2R」を念頭に置いたライフスタイルの変革を推進する。 マイボトル（600円程度）とマイカップ（200円程度）を導入し、飲料中身を50円で提供する社会実験を実施している。
関係主体	<ul style="list-style-type: none"> 京都2Rシステムプロジェクト(NPO法人地域環境デザイン研究所ecotone/NPO法人プラスワンネットワーク)/京都市/コカ・コーラウエスト株式会社/株式会社ローソン 他
全国/地域	地域型
規模(市場)	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年11月に、京都大学構内において、マイボトルの販売を通じて、マーケットニーズを把握するための社会実験を約1箇月間行った この他、様々なイベント会場で実験的な取組を展開している。 平成21年6月より、京都市役所内に株式会社ローソン及びコカコーラ・ウエスト株式会社の協力のもと「エコ・コンビニみやこスタイル」を設置。全国初のコンビニにおけるマイボトルの活用(実証)を開始。

京都市：2R型飲料供給システムの構築



足立区 あだちエコネット事業	
概要	<ul style="list-style-type: none"> 「あだちエコネット事業」の一環として、平成18年7月から区内のスーパーマーケットにペットボトル自動回収機を設置し、区民がリサイクルに参加すると、エコネットカード(環境ICカード)にポイントがたまる新回収システムを実施した。 H18年度は自動回収機を区内スーパーマーケット16カ所に設置した。H20年度から30カ所の設置となっている。 ペットボトルを自動回収機に入れると、利用者のエコネットに買い物に使えるポイントがたまり(1本5ポイント)、1000ポイントで100円分の買い物券またはスーパーマーケットのポイントと交換でき、貯めたポイントをスーパー、チェーン店等で利用する。 自動回収機は、投入された容器を選別・分別、ペットボトルのみを回収しチップ状に破碎したのち、事業者が効率的に収集し、国内でペットボトルへと再生(ボトルtoボトル)する。 ペットボトルは、家庭から出たものが対象。 容器包装の発生抑制策と再生(リデュース、リサイクル)。
関係主体	区民/事業者/行政
全国/地域	地域型
規模(市場)	<ul style="list-style-type: none"> 自動回収機による回収実績(H20.4月からH21.3月まで) 回収重量:363トン、回収本数:1037万本 回収したペットボトルは、1/10に減容化した後、企業によって効率的に収集し、ペットボトルへと再資源化を行う。 ペットの回収率は消費量の約60~70%程度にとどまっている。 企業のアイデアを生み出しながら、びん・缶なみの85~90%の回収率と回収コストの更なる削減を目指している。

あだちエコネット事業

対象品目



ペットボトル
★家庭から排出されたもののみ



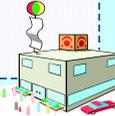
回収方法

住民による
持ち込み

自動回収機

★スーパー 30ヶ所
★ペットボトルを分別
破碎・チップ化し、
1/10に減容して保管

<回収実績> (H18年度~H20年度)
・回収重量:719トン
・回収本数:2042万本



リサイクル方法

ボトルtoボトル

★回収ペットボトルは、
企業が収集・再生



再生
ペットボトル



あだちエコネットカード
(環境ICカード)

★登録

★無料貸与

カード配布場所

- ・店舗サービスカウンター
- ・区役所温暖化対策課

★ペットボトル投入時に
カードを挿入



+ 5p



<エコネットポイント>
・ペットボトル1本につき、
5ポイント加算

ポイント還元

= 1000p



100円分の
買い物券に

または、
スーパー
マーケットの
ポイントと交換

カードの入手

カードの利用方法